

2021.9.22 佐藤（茂）

一茶道ガイド参考資料Ⅱ（9/11 オンライン Mtg「昔の疫病対策は神頼み」神仏分離 関連情報から）

一月堂（いちげつどう）について

馬橋の萬満寺（臨済宗、1256年）に、松戸市小金にあった普化宗「一月寺（いちげつじ）」の堂宇が、平成24年再建。との記事が、松戸史談 No51(H23.11)に掲載されていますので、以下ご紹介します。（記事を抜粋）「萬満寺の一月堂と余話（神尾武男氏）から」

○1 萬満寺に一月堂建設

萬満寺の墓地と並んで現在建設中の一月堂は、平成二四年二月末に完成の予定です。以下は高満寺ご住職に伺った情報です。

その音、馬橋から二駅離れた小金に一月寺という普化宗（尺八を法器とする）虚無僧の本山寺院がありました。江戸時代には、幕府の庇護もあり全国にある虚無僧寺の三本山の一つとして、大名家の家督相続問題にかかわるなど非常に影響力を持っていました。萬満寺とも関係が深く、住職就任に際しては当山（萬満寺）の指導を受けるなど、本寺と末寺のような関係にありました。

しかし、明治時代に入ると一転、時の政府によりこれまでの活動を禁止されて廃宗とされ荒廃してしまいました。後にご本尊は市の博物館に譲渡され、さらに跡地は他宗の寺院となってしまいました。

当山としても由緒のある名刹一月寺の名を惜しみ、これまで他寺院に渡っていた一月寺歴代住職の墓石を引き取り境内墓地内に移し、博物館とご本尊の返還交渉をするなど、復興に向け努力してまいりました。この度、一月堂復興に当り長年懸案になっていた堂宇の再建に着手する運びとなりました。この堂宇を「一月堂」と命名し、尺八だけでなく本格的な座禅が出来る構造となっております。

虚無僧流の凡人と座禅の両方を実践する「禅笛の研修道場」として一般の方々も参加できる「心を修養する」道場となるよう期待しております… 合掌。

○2. 普化宗一月寺

旧小金宿にあった普化宗一月寺は、正嘉元年（1257）「金先禅師」によって創建されたと伝えられています。江戸時代には青梅の鈴法寺、京都の明暗寺にならぶ普化宗の本山として隆盛をきわめていましたが、明治四年（1871）普化宗の廃止令によって廃寺となりました

【参考】

- * 萬満寺・一月寺は、いずれも臨済宗（禅宗）系の寺院です。又鎌倉時代初期の1年違いの開山。と近い関係にあった。
- * 一月堂と、2遺石は、寺の本堂裏墓地隣接地にあります。
- * 毎週日曜日夕には、一月堂で座禅会を開催しているとの事です。